



編集・発行  
日蓮宗 能勢妙見山  
広報部

〒563-0132  
大阪府豊能郡能勢町野間中  
電話 072-739-0329  
FAX 072-739-2883

## 逆境に立ち向かう

倉橋 観隆

先日何十年かぶりに不朽の名作といわれる『風と共に去りぬ』の映画を観ました。年配の方には懐かしい作品ではないでしょうか。アメリカで今から約八十年前に作られ、日本での初公開は昭和二十七年。舞台は日本の明治維新と同じ頃、アメリカの南北戦争です。当時アメリカ南部の白人は黒人を奴隷として牛馬の如く使役し、綿を中心とした産業によって財産を築き、貴族的生活を送っていました。主人公のスカレット・オハラはその南部タラで生まれ育った上流貴族の娘。しかも長女で幼い頃から

何不自由なく、我が儘いっぱいに育ちました。

その頃北部は奴隷解放を名目に南部と戦いアメリカを統一しようとしていました。結果起こったのが南北戦争だったのです。貴族的な生活に倣っていた南部は完敗。一転奈落の底に突き墮とされてしまいました。主人公のスカレットも例外ではありません。富も名誉も一切失ってしまったオハラ家。南北の善悪観は別として、この映画の見せ場スカレットは言います。「神よここに誓います。絶対に屈しません。試練を生き抜いて見せます」

失意の中からくじけず雄々しく立ち上がっていく姿が、南部の風景と雄大で

力強い音楽とが相まって、観る者に勇気と感動を与えてくれるのです。

今、人類はコロナウィルス大流行により命の危険に曝されています。経済に於いても同様。社会が根底から崩壊しようとしています。一年前。いや新年を迎えた時、誰がこの様な事態を想像したでしょうか？

日蓮大聖人が生きられた時代もまさに今の状況が眼

前に展開していました。うち続く天変地異によって疫病が蔓延し街のあちこちに死体が累々と積まれている。その中で叫ばれたのが「如何なる事があるろうとも決して諦めるな。仏を信じよ。そして、一切の魔を払う法華経を信じよ」と。今こそしっかりと信じ唱える時なのです。

南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経

## コロナウィルス感染拡大

### 防止ご協力をお願い

緊急事態宣言発令のもと、當山もご信者の皆様とともに、感染拡大の防止に取り組んでいきたいと考えております。

感染拡大防止の為、外出しないことが推奨されております。當山へのご参詣もなるべく控えて戴きたく存じます。

## ☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

ご祈禱やご回向をご希望の方は、郵便・FAX・問合せメールからの受付を行っております。ぜひそちらをご利用ください。尚参詣者の昇堂はできません。ご了承ください。

皆様とともに早期の鎮静を祈り、収束のために行動すること、大禍を乗り切ってゆきたいと願います。

K.J

## 【5月の主な行事】

☆妙見大菩薩年大祭 15日(金)

11時 修法特別加持祈禱

11時50分 講演 露の団姫師

ライブ配信の予定

13時 月例祈願法要

いずれも開運殿にて僧侶のみにて厳修します

参詣者の昇堂はできません

※特別祈禱のお申込は郵便・電話・FAXにて受け付け中です

★亨経会・清掃の日・星嶺演奏会

・星嶺茶論は、いずれも中止

★鷗様月例祭 22日(金)15時

僧侶のみにて行います

## 【6月の行事予定】

★月例祈願法要 15日(月)13時

開運殿にて僧侶のみで厳修

兜矢のお申込みは、電話・FAX・郵送にて受け付けます

★鷗様月例祭 22日(月)15時

開運殿にて僧侶のみで厳修

★星嶺演奏会・星嶺茶論は中止いたします。

※社会情勢により、予定は変更することもあります

《交通のご案内》

## ◆ケイブル&リフトについては

能勢電鉄にお問合せ下さい

※送迎車は運行していません

## 電話

詠裡庵

緊急事態宣言の発令を受けて、不要不急の外出を自粛する毎日。一日中、人とお話をする機会もないというお年寄りもあるという。人は他の人とのコミュニケーションをとり、意欲が湧き、行動する気になり、心豊かに日々を送ることができると思う。

孫が二歳を過ぎた頃のことだ。おしゃべりできるようになったので、電話でお話ししようということになった。母親がお祖母ちゃんだよ、と孫に変わっても黙ったままだった。受話器の向こうから聞こえてくるお祖母ちゃんの声を、不思議な顔で聞いているばかりだったという。

孫が三歳になった時、テレビ電話を通して話すことになった。

「あ、おばあちゃん。見て

みて、絵描いたよ」  
「元気にしてますか。あら上手に描いたわね」  
「おばあちゃん、これ見てよ」  
「おばあちゃん、これも」  
自分で描いた絵を次々に見せてくる。そればかりかその場で更に書き始める騒ぎになった。片言しか言えないのに、顔が見えるといういろと話をしてくれる。

電話からテレビ電話へとコミュニケーションの姿が、時代と共に変わってきた。

私が子供の頃は、まさかこうも簡単にテレビ電話が実用化されるとは思いませんでした。普通の電話でさえも各家に普及はしていませんでした。仕事で使うため設置している家があるくらいだった。だから必要なときは、その家まで借りに行つたものである。

小学校に入った頃、町内に農業用の有線が引かれ、その線を使って電話機が設

## 《法華經に学ぶ現代》

～純智庵～

彼の

観音の力を

念ぜば

衆の怨

悉く

退散せん

『觀世音菩薩普門第二十五』

音を觀るつて変です

音は聴くもの

そうでしょう

観音さまは人々の

苦しむ声を耳にして

なんとか

救つてやりたいと

慈眼をもつて

觀るのです

なればしつかり

念じましょう

すべての

苦惱が消えるよう

## 俳壇

～みのり～

濃き淡き緑をくぐり嵯峨野線

花の香に誘われ登る奥の院

花の散る川面に鷺の動かざる

御手洗のあふるる水に若葉萌ゆ

コロナウィルス世界を巡り大あばれ

## 法華經茶話Ⅱ

仏教誕生の時代背景②

高度経済成長によつて豊かな人々が増加してくると、司祭者階級よりも農民や商人の力が大きくなっていききました。

そして彼らは、財力を蓄えるとともに、自由な発想を持つようになります。その中から、神々とのコミュニケーションを独占しているバラモンたちに反発する知識人も登場しはじめました。その様な知識人の一部は既存のカースト制から抜け出し、新しい教えや生き方を求めて修行するようになりしました。彼らのことを総称して「沙門」と呼びます。

そして有力な沙門の元には多くの弟子が集まりました。仏教の祖である釈尊もその沙門の一人だったのです。

また、既存のカーストをひとつの「家」と考え、そこから抜け出して修行することを「出家」と呼ぶようになりました。